

経営比較分析表（令和6年度決算）

香川県 三豊市

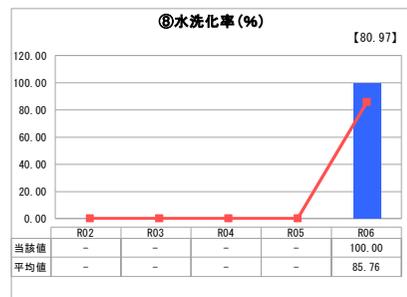
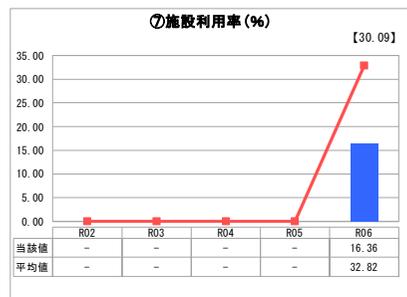
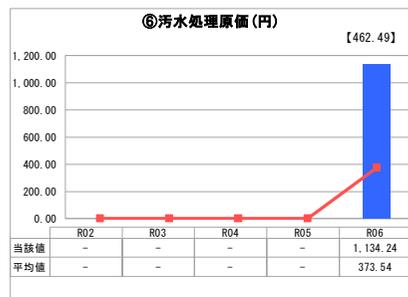
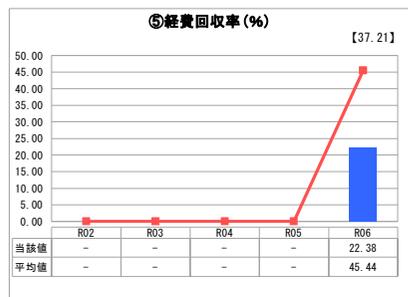
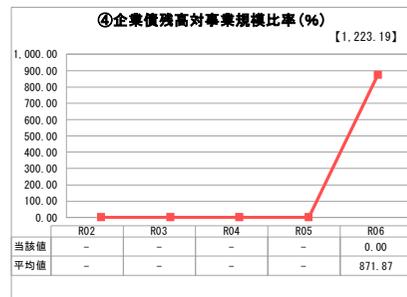
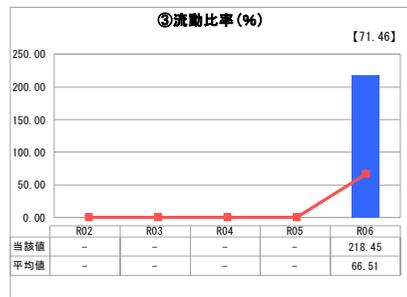
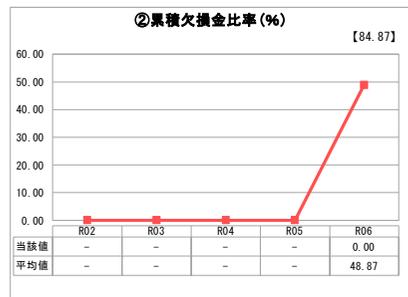
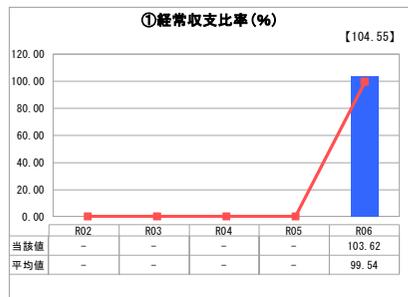
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	H1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	96.88	0.06	100.00	4,180

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
60,480	222.69	271.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
36	0.13	276.92

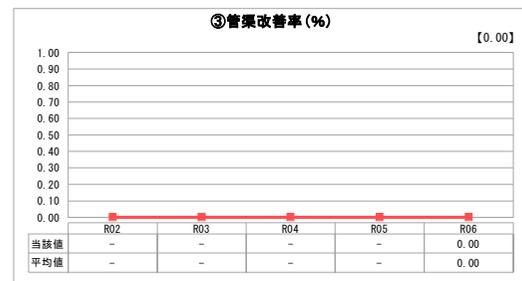
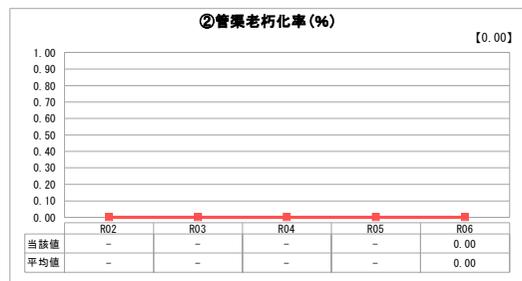
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本事業は離島(粟島)にある1施設を対象としている。令和6年度より地方公営企業法が適用され、昨年度の打ち切り決算による一時的な数値変動が解消された結果、経費回収率は22.38%(類似団体平均45.44%)という極めて厳しい数値となった。汚水処理原価は1,134.24円に達し、類似団体平均(373.54円)の約3倍という高コスト構造にある。また、施設利用率は16.36%と類似団体平均(32.82%)の半分程度で低迷しており、過大な施設規模となっている。水洗化率は100.00%に達しており、これ以上の接続増による収入改善は見込めないため、抜本的な改革が必要な状況である。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水と同様に、法適用化の影響で指標上の減価償却率等は0.00%となっているが、施設は供用開始から30年を経過し、離島特有の塩害等の影響も含め老朽化が進行している。地理的に不利な条件に加え、施設の老朽化が進んでいることから、機器等の異常早期発見と予防保全に努め、維持管理費の抑制と長寿命化を図る必要がある。

全体総括

水洗化率が100%でありながら施設利用率が10%台と低く、処理原価が1,000円を超える極めて非効率な経営状況にある。現状のまま単独維持することは財政的な持続可能性を欠くため、施設のダウンサイジング(最適化)や統廃合を含めた抜本的な見直しが急務である。今後は、経営戦略の改定に合わせ、県内の汚水処理広域化・共同化計画との整合性を図りつつ、県や近隣市町と連携して技術的・財政的な支援策の活用を模索する。人口減少が加速する中で、将来にわたる公費負担の抑制に向けた具体的な工程表を策定していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。